

生物多様性保全活動支援事業実施要領

（目的）

第1 日本農業遺産認定地域である東稲山麓地域（一関市舞川地区、奥州市生母地区及び平泉町長島地区）（以下、「東稲山麓地域」という。）において、子供たちが参加する生き物調査等の生物多様性の保全活動（以下、「保全活動」という。）を支援することにより、子供たちの自然保護意識を醸成することを目的とする。

（支援対象）

第2 支援対象は、保全活動に取り組む学校、児童クラブ、市民団体、法人等とする。

2 前項の支援対象は、次の各号の条件を全て満たすものとする。

（1）助成対象事業を遂行できる組織体制を有していること。

（2）政治活動を目的とした団体でないこと。

（3）特定の公職者（候補者を含む。）又は政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体でないこと。

（4）暴力団又は暴力団の統制下にある団体ではないこと。

（助成対象経費及び助成割合）

第3 次の経費について予算の範囲内で助成する。

助成対象経費	助成割合
1 小型ルーペ、小型の捕集網、バット、ピンセット、観察ケース、スローロープ（救助用ロープ）、ライフジャケットなど、保全活動に必要となる物品の購入経費 2 保全活動に係る昼食代、飲料代 3 保全活動に係る講師への謝礼 ※ 消費税及び地方消費税は対象外とする。	定額 （上限5万円）

2 事業実施者が必要となる物品を購入する場合は、複数の業者を比較する等、総合的に検討して購入先を選定するものとする。

（対象地域）

第4 保全活動の対象地域は、東稲山麓地域とする。

（実施時期）

第5 生き物調査等の野外で実施する保全活動の実施時期は5月から10月までの間とする。また、研修会等の屋内で実施する保全活動の実施時期は5月から2月までの間とする。

（生き物調査の対象生物）

第6 生き物調査の対象生物は任意とするが、いわてレッドデータブックレッドリストに掲載されている生物のうち、東稲山麓地域における生物多様性リスト（別表1）に掲載され

ている生物から1種以上を追加して調査を行うものとする。なお、調査にあたっては、事業実施年度の翌年度以降においても、概ね同時期に同一地域内で定点調査を行うよう努めるものとする。

（助成金の交付申請）

第7 助成を希望する団体等は、事前に束稲山麓地域農業遺産推進協議会（以下、「協議会」という。）事務局に相談のうえ、協議会長（以下、「会長」という。）に対し助成金交付申請書（様式第1号）を事業実施の14日前までに提出するものとする。

（助成金の交付決定）

第8 会長は第7の書類を審査し、助成金を交付すべきものと認めたときは、速やかに交付を決定し、その内容を申請者に対し通知するものとする。

2 会長は、助成金の交付の目的を達成するため、必要あるときは条件を付することがある。

（助成金の変更申請）

第9 事業実施者は、助成対象事業の内容等について次の各号に掲げる変更事由を生じたときは、助成金変更（中止、廃止）承認申請書（様式第2号）を会長に提出するものとする。

（1）助成対象事業の主要部分（事業内容、実施時期等）の変更

（2）事業費の3割を超える増減

（3）事業の中止又は廃止

（4）その他会長が必要と認める事項

（助成金の請求及び実績報告）

第10 事業実施者は、事業終了後、速やかに助成金請求書（様式第3号）及び実績報告書（様式第4号）を会長に提出するものとする。

（助成金の支払）

第11 会長は、第10の書類を審査し、適正と認めた場合には助成金を支払うものとする。

（前金払）

第12 会長は、必要があると認める場合は、助成金を前金払することがある。

2 事業実施者は、前項に規定する助成金の前金払を請求しようとするときは、前金払請求書（様式第5号）を提出しなければならない。

（交付決定の取消し等）

第13 会長は、助成事業の全部若しくは一部の中止若しくは廃止の申請があった場合又は次の各号の1に該当する場合には、第8の交付の決定の全部若しくは一部を取消し、又は変更することができる。

（1）事業実施者が、法令又は本要領に違反した場合

- (2) 事業実施者が、助成金を助成事業以外の用途に使用した場合
- (3) 事業実施者が、助成事業に関して不正、怠慢、その他不適当な行為をした場合
- (4) 交付の決定後生じた事情の変更等により、助成事業の全部若しくは一部を継続する必要がなくなった場合又は継続できなくなった場合

2 会長は、前項の取消しをした場合において、既に当該取消しに係る部分に対する助成金が交付されているときは、期限を付して当該助成金の全部又は一部の返還を命ずる。

(情報公開)

第 14 会長は、束稲山麓地域で行われている取組等を広く周知するため、本事業による助成を受けて実施する取組内容について、公開することができる。

附則

この要領は令和 7 年 6 月 11 日から施行する。

(別表 1)

東稲山麓地域における生物多様性リスト

○ RDB-Iwate (いわてレッドデータブック)

- ・絶滅危惧 1 類：絶滅の危機に瀕している種
- ・絶滅危惧 2 類：絶滅の危機が増大している種
- ・準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種
- ・留意：現時点では「絶滅危惧」に該当しないが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧 1・2 類」や「準絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する可能性が高い種、あるいは優れた自然環境の指標となる種

(1) 維管束植物

No.	学名	和名	沖積地	棚田	ため池	森林	RDB-Iwate
1	<i>Abies firma</i> Sieb. et Zucc.	モミ				●	留意
2	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Sieb. et Zucc.	カヤ				●	留意
3	<i>Persicaria conspicua</i> (Nakai) Nakai	サクラタデ	●				準絶滅危惧
4	<i>Rumex longifolius</i> DC.	ノダイオウ		●			留意
5	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) Williams	カワラナデシコ		●	●		準絶滅危惧
6	<i>Trapa incisa</i> Sieb. et Zucc.	ヒメビシ			●		絶滅危惧 1 類
7	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim.	リンドウ		●			準絶滅危惧
8	<i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino	センブリ				●	準絶滅危惧
9	<i>Cynanchum paniculatum</i> (Bunge) Kitag.	スズサイコ		●			絶滅危惧 2 類
10	<i>Tylophora floribunda</i> Miq.	コカモメヅル		●			絶滅危惧 2 類
11	<i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A.DC.	キキョウ		●	●		絶滅危惧 2 類
12	<i>Patrinia scabiosaeifolia</i> Fisch.	オミナエシ		●			準絶滅危惧
13	<i>Dendranthema boreale</i> (Makino) Kitam.	キクタニギク		●		●	準絶滅危惧
14	<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.	ミズオオバコ		●	●		絶滅危惧 1 類
15	<i>Potamogeton pusillus</i> L.	イトモ			●		絶滅危惧 2 類
16	<i>Najas graminea</i> Del.	ホッスモ		●			絶滅危惧 1 類
17	<i>Arisaema undulatifolium</i> Nakai var. <i>ionostemma</i> (Nakai et F.Maek.) Ohashi et J.Murata	ミミガタテンナンショウ				●	準絶滅危惧

(2) 鳥類

No.	学名	和名	沖積地	棚田	林縁	RDB-Iwate
1	<i>Egretta intermedia</i>	チュウサギ	●			準絶滅危惧
2	<i>Buteo buteo</i>	ノスリ	●	●		留意
3	<i>Falco peregrinus</i>	ハヤブサ		●		絶滅危惧 1 類

(3) 昆虫類

No.	学名	和名	沖積地	棚田	ため池 他	森林	RDB-Iwate
1	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris, 1916)	モートンイトトンボ		●			準絶滅危惧
2	<i>Luciola cruciata</i> Motschulsky, 1854	ゲンジボタル	●				留意
3	<i>Hestian japonica</i> (C. Felder et R. Felder, 1862)	ゴマダラチョウ		●			留意

(4) 淡水魚類

No.	学名	和名	沖積地	棚田	ため池	林縁	RDB-Iwate
1	<i>Carassius auratus</i> subsp.1	キンブナ			●		準絶滅危惧

(5) 両生類

No	学名	種名	沖積地	棚田	林縁	RDB-Iwate
1	<i>Hynobius lichenatus</i> Bouleger	トウホクサンショウウオ		●		留意
2	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ		●	●	留意
3	<i>Rana japonica japonica</i> Gunther	ニホンアカガエル		●	●	絶滅危惧2類
4	<i>Rana porosa porosa</i> Cope	トウキョウダルマガエル	●	●	●	留意

(6) その他無脊椎動物

No	学名	種名	沖積地	棚田	林縁	RDB-Iwate
1	<i>Paratya compressa improvisa</i>	ヌカエビ	●	●	●	留意
2	<i>Geothelphusa dehaani</i>	サワガニ		●	●	留意